

浜松医科大学

学術機関リポジトリのあゆみとこれから

浜松医科大学 学術情報課
目録情報係 大庭 卓

H22.11.4 DRF主題ワークショップ(医学・看護学)in奈良 : 事例報告

浜松医科大学の紹介

静岡県内唯一の国立医科大学として
昭和49年(1974年)に開学

医学部(医学科・看護学科)
大学院医学研究科(博士課程・修士課程)

学生数 約1,080名
職員数 約1,250名(附属病院等含む)
医学科は入学定員増で 120名
看護学科は定員 70名
平成20年度から助産学専攻科(1年制)を開設

附属図書館の紹介

浜松医科大学附属図書館
Hamamatsu University School of Medicine Library

English 浜松医科大学 アクセス サイトマップ

HamaMed-Repository
浜松医科大学学術機関リポジトリ
マイライブラリ
利用方法はこちら

開館カレンダー 詳細 >>
2010年10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

通常開館時間
月曜日～金曜日 9:00～20:00
土・日曜日 10:00～17:00

お知らせ

- 2010年10月12日
NEW 10月17日と11月29日は停電
- 2010年10月8日
NEW ただいま「今日の診療Web版」
- 2010年9月16日
NEW ScienceDirectが新しいプラットフォームSciVerseに移行されました。
- 2010年9月16日
NEW 機関リポジトリ DRF技術ワークショップ in 浜松が10月29日に開催されます。
- 2010年8月10日
NEW SciFinder(Web版)の最新バージョンが8月3日にリリースされました。

機関リポジトリ

情報検索

蔵書検索

- 本学蔵書検索(OPAC)
- 静岡県内の蔵書検索(OPAC)
- Webcat(全国大学総合目録データベース)
- Webcat Plus(連想検索)
- 国立国会図書館蔵書検索

電子ジャーナル・データベース

- 電子ジャーナル
- PubMed
- 医中誌Web
- CiNii
- EBMR.Medline
- CINAHL
- UpTo Date
- Web of Science

図書館について

- 図書館長の挨拶
- 図書館概要
- 館内の紹介
- 連絡先・所在地

利用案内・申込み

- 利用案内
- 文献複写申込み
- 利用申請書
- 地域の医療従事者の方へ
- ガイダンスのご案内
- 一般の利用者の方へ

資料案内

- 学生用推薦図書
- 近松医科大学紀要一般教育
- 七科約説
- シラバス掲載図書
- 博士論文リスト
- 解体正図
- 視聴覚資料
- 科学研究費補助金報告書
- CD-ROM、DVD-ROM
- 図書館報「くまの」
- 新着図書リスト

その他

- COE Medical Photonics Library
- 静岡県医療機関図書館連絡会

利用手引き

- 資料の探し方
- PubMedマニュアル
- 医中誌Webマニュアル
- JCR Web版マニュアル

リンク

- 医学・看護学関連
- 図書館関連

学術情報課(附属図書館)

- ・企画係
- ・目録情報係
- ・情報サービス係

(常勤職員5名：課長を含む)
(非常勤職員6名)
(派遣職員1名:リポジトリ担当)

蔵書データ

図書冊数 13万冊
年間受入冊数 3,200冊
継続受入雑誌 630タイトル

機関リポジトリへの取組み

CSI委託事業に応募

とりあえず、
リポジトリの波・他大学に
乗り遅れないように

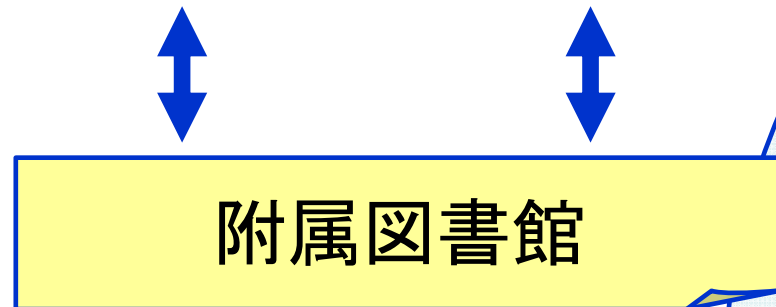
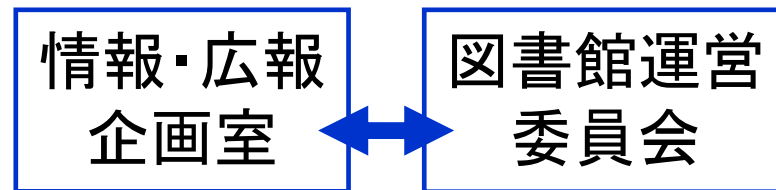


- まずは、19年4月に「NII CSI委託事業」に応募
(平成19年度に新規委託された13機関中の
ひとつとして採択)
- (すでに平成18年度までに57大学がCSI事業で立ち
上げていた。)

平成20年6月公開!!₄

運営体制

大学全体の仕事として位置づけ



学術情報課

- ・企画係
- ・目録情報係
- ・情報サービス係

実施体制

- ・課長と目録情報係が中心になって行っている
派遣職員1名雇用
- ・人数が少ない小規模大学なので学術情報課の全体で協力して進めて行こう

これまでのあゆみ

2007(平成19年度)

3月 学内承認(リポジトリの構築・委託事業応募)

6月 NII-CSI委託事業採択

7月 設置要綱

8月 学位論文登録了承

9月 運用指針

修士論文登録了承

10月 機関リポジトリサーバー導入(DSpace1.4.2)

11月 学内説明会開催

これまでのあゆみ

2008(平成20年度)

紀要・学術論文等の登録開始

リポジトリ名称をHamaMed-Repositoryに決定

3月 試験公開開始

6月 **正式公開**

紀要掲載論文の電子化開始

博士論文(論文の内容の要旨及び審査結果の要旨)の電子化実施

これまでのあゆみ

2009(平成21年度)

- ・紀要・学術論文等の調査登録
- ・博士論文(論文の内容の要旨及び審査結果の要旨)
- ・論文登録依頼の資料作成のため、Web of Science(文献データベース)を使用して本学教職員が著者である論文を調査
- ・利用統計情報機能を新たに導入

2010(平成22年度)

- ・学術論文等の調査登録
- ・博士論文(論文の内容の要旨及び審査結果の要旨)

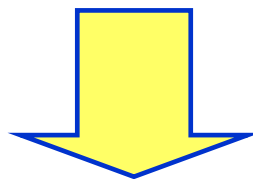
コンテンツ増加に向けた取組み

学会への承諾依頼

2008(平成20年度)

・日本産科婦人科学会雑誌に掲載された論文の著作権許諾および登録実施

本学理事が下記学会の理事職であったため、依頼



2009(平成21年度)

・日本法医学会・日本法中毒学会に対し
本学所属職員の執筆論文について包括的な掲載許諾手続きを行い、日本法医学雑誌、法中毒誌の論文を登録実施

博士論文

博士論文の要旨は登録しているが
本文が掲載されている論文はわずかな件数である。

- ・博士学位論文の学術機関リポジトリ登録許諾書を修了時に担当部局から用紙を渡していただいているが、許諾書がほとんど図書館に戻って来ていない。
- ・本学医学科の場合、適当と認める学会誌に公表された論文が博士論文としての必要条件のため、中身は雑誌掲載論文であり、出版社の許諾に基づいているため、ほとんど登録できていない。

参考:2010年度、国立国会図書館で学位論文(博士)のデジタル化をめざし大学と国立国会図書館が協力して著者に許諾を求め、共に公開することを考えている。

(1991から2000年度を対象範囲) 国立国会図書館通知文書2010/06/10

予算の内訳

2007年度	CSI委託経費 + 学内経費から機器等を支出
2008年度	CSI委託経費 + 学内経費から派遣職員雇入れ、論文の電子化、システム保守費を支出
2009年度	CSI委託経費 + 学内経費から派遣職員雇入れ、システム保守費等を支出
2010年度	学内経費(学長裁量経費)から派遣職員雇入れ、システム保守費を支出予定



コンテンツの内訳

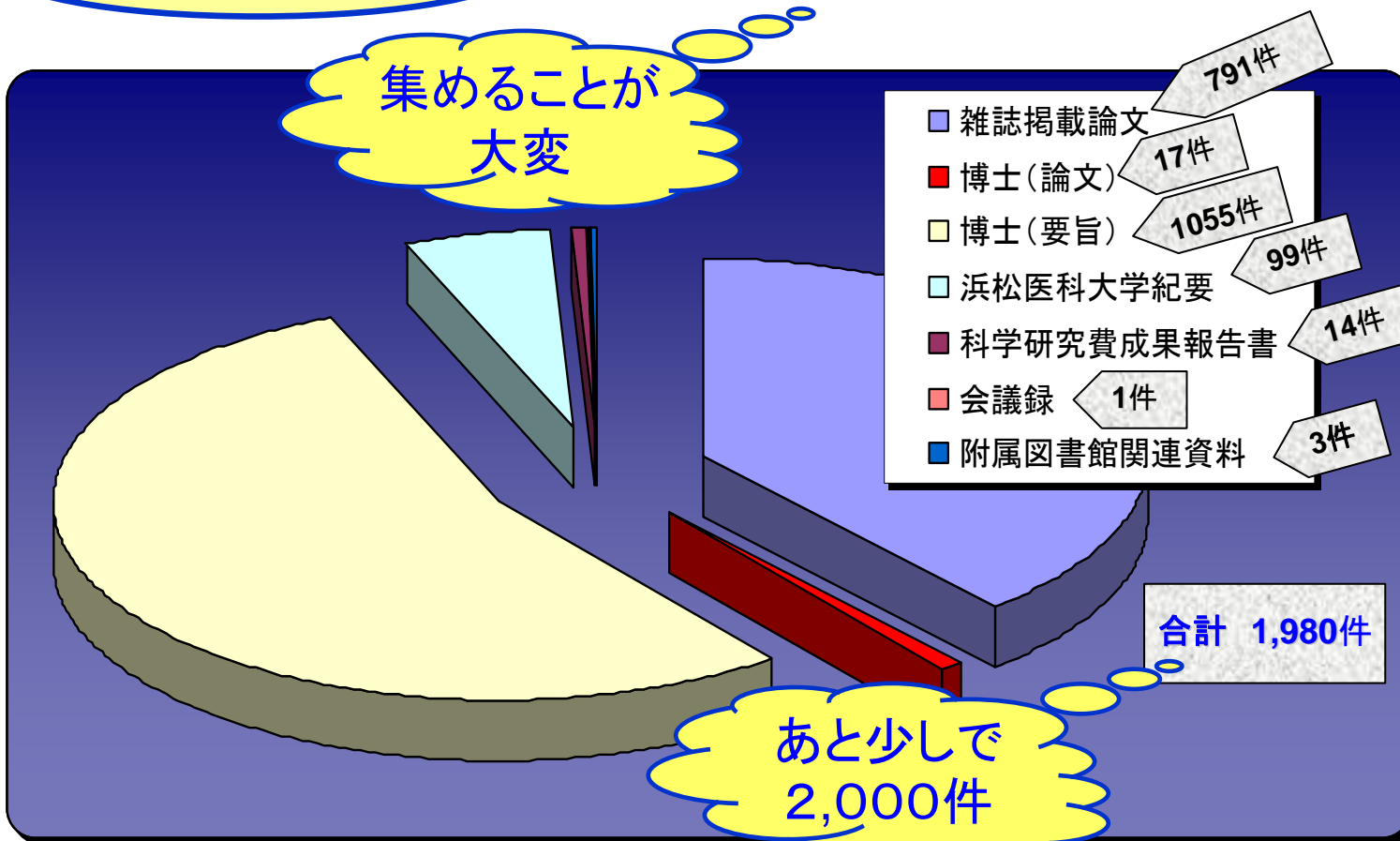
集めることは
簡単

すべて登録

浜松医科大学紀要
博士論文(論文の内容の要旨及び審査結果の要旨)

少しずつでも集めよう

博士論文・修士論文・雑誌掲載論文



ダウンロードランキング

利用統計

高頻度利用アイテム: [今月] [今年] [去年] [全期間]
 統計サマリー: [期間別] [国別]

利用統計情報
機能を導入

高頻度利用アイテム: 全期間 (件数は上位50件の内数)

順位	資料名	コンテンツ	件数	ダウンロード
1	Building a Medical Vocabulary: A Guide for M			2534
2	“嘘発見器”電子キットによる皮膚電気活動の量	博士(論文の内容及び審査の要旨)	23	1514
3	Antimalarial activity of methanolic extracts fro against a CQ-tolerant rodent parasite, in mice			1116
4	行列式の基本性質について	浜松医科大学紀要(一般教育)	22	769
5	Impaired Toll-like receptor 9 expression in alve			736
6	Le Fantastique d'après les Contes cruels de V	附属図書館	2	695
7	地域における健康危機管理におけるボランティア			630
8	関口存男における前置詞 unter と bei	雑誌掲載論文	1	601
9	An Examination of the Human Soul that Dwell			566
10	学習意欲の診断法に関する一研究	博士(論文)	1	565
11	ある漸化式から生じる数の集合について(1)平均			546
12	『陶淵明考』(其五)「寂寥」東と西 漢詩の英訳(7)	科学研究費成果報告書	1	543
13	Measurement of placental oxygenation by transabdominal near-infrared spectroscopy			534
14	『陶淵明考』(其二)「酒」東と西 漢詩の英訳(4)			518

上位50位までの中身は

1位のコンテンツは紀要に掲載された外国人教員による
医学用語教育に関する論文(英文)

浜松医科大学紀要(一般教育)(英語・倫理学・数学……)
博士論文(要旨)のみでも意外と利用が多い

リポジトリに登録されることにより紀要論文・博士
論文(要旨)の可視性がアップ

今後は(I)

予算

- ・今後は、大学の経常予算を獲得して運営していく方針
- ・システムの維持管理(機器更新・保守等)経費も必要

業務体制

- ・派遣職員のみには任せるのではなく、日常業務の中に組み入れる(年間を通して行う)
- ・運用・登録マニュアルの整備
- ・システム(DSpace、Linux等)の知識力UP
(今でもわからないことだらけ)

今後は(Ⅱ)

コンテンツ(まずは中身が大事)

- ・常に更新(情報の新鮮度UP)
- ・継続してコンテンツを収集(件数を少しずつ増やす)
- ・新規開拓した教員への個別アプローチ
- ・今まで本学が手がけていないコンテンツ
(シンポジウム・講演会等)の開拓

利用の促進

- ・リポジトリのトップページを親しみやすいデザインに
(その印象を左右する重要な顔としての存在)
- ・PDF(本文)までたどり着く操作方法の改善
(利用者の立場に立ったQ&A等)
- ・ダウンロードのアクセスの分析(どのような経路からの利用?)

今後は(Ⅲ)

いろいろやりたいことはあるけれど

リポジトリへ

- ・通常業務が優先され、なかなか進まない。
リポジトリ業務と他の業務の優先度
どう考える？



- ・現在、図書館では「電子ジャーナルなしでは成り立たない」が、電子ジャーナルを利用できない利用者、電子化されていない論文、埋もれてしまっている論文もできるだけ、必要としている利用者に届けよう。
- ・人的ネットワークのつながりを広げる。
- ・認知度UPのため、大学のトップページからリンク
(それには中身が伴わないと!!)

ご清聴ありがとうございました。